ハイチ政治・経済・社会情勢（２０１４年７月）

１．政治関連報道

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 報道日 | 報道媒体 | 報道内容 |
| 1日 | ハイチ・リーブル | 6月30日、ジャン＝マリー経済・財政大臣は下院に2014年－2015年度予算案を提出した。 |
| 2日 | ル・ヌーヴェリスト | 6月30日、マルテリー大統領、7月1日に開催されたパナマのバレラ新大統領就任式典への参加のためラロ通商・産業大臣らとパナマを訪問。 |
| 2日 | ハイチ・リーブル | 臨時選挙管理委員会は、112の団体が次期選挙の政党登録手続きを行い、内、108の団体の登録が受け付けられた旨公表した。OPL、Fanmi Lavalas、FUSION、INITE、MOPOD等主要野党各党は登録を見送った。 |
| 5日 | ハイチ・リーブル | マルテリー大統領は、1日から4日までアンティグア・バーブーダで開催された第35回カリコム首脳定例会合に参加、帰途についた。マルテリー大統領は同会合で、2013年12月にポルトープランスにて開催されたカリブ諸国による障害者政策のための会合に関して報告した。 |
| 11日 | ハイチ・リーブル | 10日、ドミニカ共和国ホアン・ドリオにて、ハイチ－ドミニカ共和国ハイレベル会合が執り行われた。ハイチからはラモット首相が参加。ドミニカ共和国に暮らすハイチ系移民の国籍問題に係る意見交換や両国間の通商活動等に係る合意が交わされた。 |
| 11日 | ハイチ・リーブル | 10日、高等法院は、臨時選挙管理委員会の司法府代表のひとりとしてマンガル女史を選出した。デュクレルビル氏の後任となる。同女史は、元ジャーナリストであり、また女性の権利に係る活動をしていた人物。 |
| 14日 | ラジオ・メトロポール | 14日よりパン・キムン国連事務総長がハイチを訪問する。マルテリー大統領との会談やMINUSTAH等の活動に係る会合を予定している他、国連が諸活動を展開している中央県の平野部を訪問する。 |
| 14日 | ラジオ・メトロポール | 週末、ラモット首相はルノー防衛大臣と共に、エクアドルで訓練を終えた30名の工兵部隊キャンプを訪問し同部隊が修繕したルーヴェルチュール道路とクレタピエロの城塞を見学した。今後も同部隊への政府の支援を約束した。 |
| 16日 | ハイチ・リーブル | 14日、新たな臨時選挙管理委員会の委員としてマンガル女史とマチュラン氏が選出の旨大統領令が発出された。 |
| 22日 | ハイチ・リーブル | 21日、マチュラン氏が、カントン氏に変わり臨時選挙管理委員会委員長に選出。 |
| 23日 | ハイチ・リーブル | 22日、ラモット首相らと共にマルテリー大統領はドミニカ共和国を訪問し、ロンバイ欧州理事会議長同席の下、メディナ大統領と会談、プンタ・カナ宣言を確認し、両国間の関係強化について協議、またEUによる両国に対する支援を求めた。 |
| 25日 | ラジオ・メトロポール | マチュラン新委員長の下、臨時選挙管理委員会が前委員長の下で決定された選挙関連事項の修正に着手。10月26日第一回投票延期の可能性は排除されていない。また、次期選挙に向けた政党登録を再開する。 |
| 28日 | ハイチ・リーブル | 27日、花のカーニバルの開幕を宣言した後、マルテリー大統領はラロ通商・産業大臣と共にトリニダード･トバゴに向け出発した。同地で開催予定の日カリコム首脳会談へ出席する。 |
| 29日 | ハイチ・リーブル | 28日、マルテリー大統領、安倍総理大臣と会談。法の支配の基礎を強化し、平和と安定をもたらす制度的な変革の必要性を強調した。更に、選挙実施のためには上院での選挙法修正案の可決が喫緊の課題としながらも、臨時選挙管理委員会は既に十全に機能をし、自由で公正な選挙を実施するためのあらゆる方策が執られているとした。雇用問題では、ハイチの北県に位置するカラコル工業地帯について触れ、北米、ヨーロッパ、パナマ運河への同地帯のアクセスビリティの良さといった地理的な利点を強調し、日本企業のハイチへの投資を促した。仮に日本企業の進出が実現すれば、ハイチ国内での雇用創出につながるため、米国のHOPE法やHELP法に基づき米市場への優先的なアクセスが認められると強調した。また、中小企業支援や工業都市設置に係るハイチ政府のプログラムへの日本政府の支援を訴えた。安倍総理はハイチに対し震災後の復興及び国の安定を引き続き支援する旨述べた。 |
| 29日 | ハイチ・リーブル | 28日、日カリコム首脳会談出席のためトリニダード･トバゴを訪問中のマルテリー大統領は、トリニダード･トバゴ政府とエネルギー分野協力に合意署名した。 |
| 30日 | ハイチ・リーブル | 29日、マルテリー大統領、バハマを公式訪問。港湾組織力強化に関する科学技術協定、輸出農業漁業産品の品質管理における商業・技術協定、投資促進・相互保護に関する協定に署名した。 |
| 31日 | ハイチ・リーブル | ハイチ政府、165百万グルドを選挙資金として拠出。 |

２．経済関連報道

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 報道日 | 報道媒体 | 報道内容 |
| 6日 | ハイチ・リーブル | サンライズ航空が、ポルトープランス及びジャマイカのキングストン間に間もなく定期便を就航すると発表した。 |
| 8日 | ハイチ・リーブル | 7日、ラモット首相はヴィルドラン観光大臣らと、クロア・デ・ブーケのノアイユ工芸村を訪問。工芸で名高い同村はハイチ政府の450万米ドル相当の整備計画の対象地域となっている。 |
| 8日 | ハイチ・リーブル | 7日、ラモット首相は、ヴィルドラン観光大臣と共にペチヨン・ビルに建設された新たなキナム・ホテルを訪問した。全118室。85室、2つのレストラン、バー、カフェ等とともに増築された。 |
| 9日 | ル・ヌーヴェリスト | ４日から７日にかけて、カラコル工業団地で操業を続ける韓国系服飾メーカーSae-Aが創業2年を祝う。韓国のS&Hグローバル株式会社の経営陣らも参加。 |
| 10日 | ハイチ・リーブル | ハイチを訪問中のインドラワティ世界銀行専務理事はジャン＝マリー経済財政大臣と、5つの分野（教育、地域開発、中央県及びアルティボニット県の開発、北県の観光開発、財政支援）、総額139百万米ドル超の支援に係る協定に署名した。 |
| 17日 | ハイチ・リーブル | 16日、ラロ通商産業大臣は、タブレットやモバイルの組立てを行うHandxom株式会社と、電機製品の組立てを行う免税地区「Handxom Free Zone」の設置のため13百万米ドル規模の協定に署名した。同地区への諸外国企業誘致も目論む。今後、毎年、3百万米ドル規模の資本注入を追加的に行う予定。13,000人の雇用が見込まれる。また、シテ・ソレイユのヴァローでの工業区設置に関する「West Indies Industrial Mills社」との合意では、当初の投資額87百万米ドルから145百万米ドルに引き上げられた。同工業区により20,000人の雇用が見込まれる。 |
| 21日 | ハイチ・リーブル | 6月の消費者物価指数の上昇率は前月比＋0．7％。 |
| 29日 | ハイチ・リーブル | アメリカン航空は、10月2日以降、マイアミとカパイシアン間で定期便を就航予定。 |

３．社会関連報道

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 報道日 | 報道媒体 | 報道内容 |
| 3日 | ハイチ･リーブル | 6月28日から30日にかけて、MINUSTAHはハイチ国家警察とともに、シテ・ソレイユのベルクール地区にて共同で治安維持のための取り締まり作戦を行った。 |
| 5日 | ハイチ・リーブル | IOMによると、震災後4年経過し、92％の避難民がキャンプを離れることができたが、残る10万人は主にポルトープランスと西県のパルム地区のキャンプに暮らしている。 |
| 6日 | ハイチ・リーブル | 5日、マルテリー大統領はソフィア夫人と共にマニガ元大統領の国葬に参列した。 |
| 8日 | ハイチ・リーブル | 7日、ハイチ・ナショナル・パンテオン博物館（MUPANAH）での記者会見でロクール文化大臣は、5月に探検家のクリフォード氏が「発見」したコロンブスのサンタ・マリア号の残骸とされるものについて、既に1978年から1985年に行われた調査でその存在は知られていたこと、また、それが本当にサンタ・マリア号のものかは未だ定かではない旨報告した。ユネスコの委員会の勧告を受け、ハイチ政府は同探検家の発掘調査に許可を与えていない。ハイチ政府の要請に応じ、ユネスコは8月に調査チームを同海域に派遣して調査をする。 |
| 10日 | ハイチ・リーブル | 8日、首相府はポルトープランスの衛生向上（ゴミ処理）のための新たなアクションプランを発表。特に、ケンスコフ、ペチヨン・ヴィル、デルマ等の8つの市で短期の衛生促進プログラムを行う。同プログラムで1500人の雇用創出が見込まれる。 |
| 10日 | ル・ヌーヴェリスト | 7日、農業省は家畜の個体識別プロジェクトを西県で始めた。北県及び北東県で既に実施済み。頻発する盗難被害を食い止める。また個体の特定により輸出も可能となる。各牛には2つのイヤリングと記録帳が、また飼い主には牛イヤリング及び記録帳の番号が記されたパスの携行が義務づけられる。 |
| 16日 | ハイチ・リーブル | 15日、ミス・ハイチ委員会は、最終選考に残った18歳から25歳の22名を発表した。ハイチ国内はもとよりディアスポラからの参加も。 |
| 24日 | ハイチ・リーブル | 22日、マルテリー大統領は、国立警察学校で行われた36名の警察官の卒業式に参加した。 |
| 25日 | ラジオ・メトロポール | 24日、ギャング団グラン・ラヴィーヌのリーダー、チ・ケンケンことマッケンディ・フランソワが殺害される。 |
| 25日 | ハイチ・リーブル | 24日、首相府にてハイチ政府はメキシコ大使館と共同で、メキシコ大学へのハイチ人奨学生100名の出発を祝う式典を行った。  |
| 26日 | ラジオ・メトロポール | 花のカーニバルが7月27日から開始。29日まで。 |
| 31日 | ハイチ・リーブル | 29日、ラモット首相は、ペトロカリベのアルヴァレス代表及び同氏に同行した技術スタッフから、商業及び住宅コンプレックス建設プロジェクト「ボエンフィールド・シティ・コンプレックス」に係る調査の進捗について報告を受けた。同プロジェクトはチャベス元大統領が生前約束したもの。6階建ての建物が111棟、そのうち5棟が住居。耐震性も考慮しM8.2の地震にも耐えうる設計となっている。ボエンフィールド道路沿いに建設予定。同道路はかつて滑走路として使用されていた。 |

＊当国各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。